

主として道路より見たる雪害対策について

一 路 生

陽春の本誌五月號に本題を掲ぐ。いささか季節外れの感がないでもないが、積雪地方に於ては三月二十日頃よりそろ／＼雪融けが始まり、所謂雪害に悩まされるのであるから、雪害を説くのも強ち無意義ではなく、且は關係地方民の來るべき冬に處する眞摯なる對策の御考究あらんことを熱望し敢てこの一文を草した次第である。

(一) はし が き

我が東北地方は地域的に見て都心地より離れて居り文化的恩恵に浴することが少いのに、冬ともなれば殆ど半々年

近くも雪の中に埋れて生活をしなければならぬのである。

由來東北人は其の性鈍重にして明朗性を缺くと聞くが、これなども永年自然より受けた影響の表れとも見るべきもので、物質的精神的に償ふべくもない程甚大なる影響を蒙つたのである。この影響すらも従來は「降る雪は止めることが出来ない」と諦めて居つたことであらうが、現今のやうに四通發達して容易に各地方と往來することが出来る時代では、はつきりと雪が降る地方と雪が降らない地方とを比較對照することが出来、今迄の餘りにも暗い陰鬱な宿命的環境に今更ながら驚愕し、何とかしてこの環境を脱して

よりよき明朗性ある生活を營まうと懸念の努力を惜しまないのは蓋し當然の成行と言はなければならぬ。

政府當局に於ても我が東北地方は地域的に極限されて居るので、雪國地方の生活状態に對して比較的關心を持つて居らなかつたのであるが、輿論の動向前述の如くなる以上雪國地方に對する新たな認識と社會各般に於ける之が根本的對策を講ずることこそ喫緊事と言はなければならぬ。

敵を征服するには先づその性質を知ることが肝要である。此處に於て先づ解決しなければならないことは雪の物理的化學的性質を研究しなければならぬことは勿論であるが差當り積雪時に於ける交通を如何にして圓滑ならしむるかといふことであらう。農林省に於ては既に早く山形縣新庄町に農村經濟調査研究所を設立して之が研究をしてゐるが之は主として農村經濟を對照として居るもので、道路干係としては、その研究機關の何等見るべき施設のないのは甚だ遺憾である。

雪害對策の第一着手としては、雪害に因る被害額を調査してその原因狀況を探究して防除災の方法施設に關する調査を遂ぐる事が先決問題である。依つて雪に因る被害狀況を別表に掲げ大方の參考に供し如何にその對策の急務なるかを了解して頂きたい。而して雪害對策の一方法としては或は東北及び北陸地方に雪害研究所を設置して雪の性質を研究し土木施設に及ぼす損傷を未然に防ぐのもよし或は雪崩防除施設をなすのも一方法であるが、結局は雪國人に雪を凌ぐ生活様式を指導する一方國家的見地からも、雪國に特殊な凌雪の施設をする事が最も緊要の事柄であつて、地方民の覺醒を促すと共に之に對する國家的助成策の確立こそ望しき限りであつて、斯くてこそ北滿移民の基準となるべき東北人を作り時局下國家總力の發揚に貢獻する處蓋し大なるものがあると信するのである。

(二) 主として道路より見たる雪害

對策に付て

道路に及ぼす雪害は別掲災害的總括表中土木干係に示すが如く莫大なる額に上るのであるが、その發生原因は多量の降雪に因ること勿論ですが、一面各土木施設が耐雪的に築造されてゐないのに歸因するものと考へられる。即ち道路は雪崩による破壊、凍上りによる路床構造の破壊或は降雪、融雪時に於ける路面の損傷等は道路そのものが耐雪的見地より見て未改良に屬してゐるからであるが、この雪害を免がれるためには、雪崩豫想箇所に対して法_レ配を緩和し適當なる工作物を施設するとか、段切工を施工するとか或は雪路交通に對して不斷の修理をなし雪面の不陸のないやう努むるとか又は吹溜の生じないやう防雪林、防雪柵を設置する等々種々の方法が考へられるが、路面の鋪裝化を圖るのが、效果一〇〇%と認められるのである。

路面を鋪裝し、雪路交通に對して不斷の維持修繕をなすことも、いざ實行となれば、夫々の縣の財政とニラミ合せのこととなれば、財政餘力のない以上、どうしても國家の助成を仰ぐこととなると思ふから、國家としても積雪地方

の特殊事情といふことと雪害の如何なるものであるかを認識して次に述ぶるが如き研究機關を設置して恒久的對策の確立を期する一方道路鋪裝費に對し、雪道設置助成費に對し或は國庫補助災害規程を改訂して助成の途を講ずるといふ積極的對策の一日も速に實現されんことを希望して止まない次第である。

(1) 國營の雪害研究所の設立

農林省に於ては既に早く山形縣新庄町に農村經濟調査研究所を設置して居ることは曩に述べた通りであるが、之は主として農村經濟に對處すべき種々の對策を考究してゐるが、内務省に於ても雪に關する調査研究所を東北六縣、信越北陸方面に數ヶ所設置して積雪時に於ける要施設事項を研究し以て積雪地方土木行政に指導を與へられるやう希望して止まない。

(2) 所謂雪道設置助成費の交付

内務省に於ては積雪地方に對する助成方法として昨十四年度に於て總額六〇〇、〇〇〇圓(此の補助額二〇〇、

〇〇〇圓)を雪害防除施設費として採擇したが、その效果見るべきものあるに鑑み將來共之が助成を圖ると共に防雪柵、防雪林設置費に對しても助成を圖り或は亦積雪期間文の道路即ち雪道設置に對しても高率の助成をなし以つてその實施狀況を報告せしめ最善の對策を考究すると共に他面干係府縣に於て綜合的研究發表會をなさしめ斯道改良の途を圖ること。

(3) 東北振興助成費の確立

北海道拓植費沖繩縣振興助成費の如く東北振興助成費の確立をなし以て恒久的對策を執ること。

(4) 國庫補助災害補助規程の改訂

現行災害補助規程に於ては所謂雪害に因る復舊費に對しては助成せざる方針を執れるも、等しく道路の缺壞、橋梁の破壞といふも、融雪時に於ける災害と認めらるるもの相當多きを以て之を認め雪害に因る復舊施設に對する國庫補助の途を講ずること。

三、一般的な對策要望事項に付て

- (1) 雪國地方の農家經濟は窮迫甚しく雪害防除に關する施設に付ては其の經費の負擔に堪へ難きを以て從來及將來施行の助成施設に對する國庫助成率の増率を圖ること
- (2) 雪國地方は積雪の爲屋外の業務に従事すること能はざるを以て其の期間頗る長く爲に勞力に多大の餘剩を生ずるを以て副業の獎勵は最も緊要と認めらるゝに付之が施設に對し高率の助成金を交付すること。
- (3) 雪害の爲特に要する教育施設費に對しては國庫より高率の補助金を交付すること。
- (4) 雪國地方に於ては住民の資力薄弱にして従つて地方財政窮迫し他に比し一般施設の劣れるに不拘地方税は却て過重なるを以て地方税の輕減及地方財政補給金の増額を圖ること。
- (5) 雪國に於ては家屋は其の構造又は設備に於て改善の

要あるもの尠からざるを以て之が新築改造其他施設費

に對し高率の補助金の交付其の他の助成を圖ること。

(6) 義務教育費の全額を國庫負擔とせられたし。

(7) 災害復舊事業に對し補助率を高め且何價の利子に付ては國庫より全額補給を爲すこと。

(8) 積雪國地方は財政經濟概ね窮乏し金融亦圓滑を缺き金利一般に高率なるを以て地方の開發事業の經營上極めて不利の立場にあるを以て金融施設を整備し一般産業の所要資金に付ては努めて低利なる資金の供給を潤澤にすること。

(9) 積雪地方農村經濟調査所は一道十縣に互る廣汎なる地域なるを以て現在の施設を以てしては此等地方に對して充分なる調査指導は困難なるに依り之が擴充を圖ると共に東北地方各縣に之が支所を設置し雪害對策上遺憾なきを期すること。

(10) 醫療機關の普及竝に救療施設に對し相當の助成金を交付せられたし。

(11) 積雪に依り家屋及路面の降雪及苗代の降雪に多大な

る費用を要し市内にありては一戸平均二十圓の降雪費を要する事情に付將來土地賃貸價格改訂に當り積雪地方に對し特に留意すること。

(12) 降積雪、吹溜、積雪等に因り生ずる鐵道交通支障の一般社會公衆に與へる不便困惑甚大なるを以て之を減却するに效果ある積雪防止、吹溜防止、切取區間の切擴、除雪水路施設、防雪林育成等の防雪設備費に對し高率の助成金を交付すること。

以上の方策を以て適切なるものと思はざるを得ない。

昭和十四年災害的雪害總括表

| | |
|---------|--------------|
| 農 產 關 係 | 八二四、六〇六、〇〇 |
| 華 果 關 係 | 四、〇四五、八一、七四 |
| 畜 產 關 係 | 一七四、五九二、五〇 |
| 養 蠶 關 係 | 六、〇八八、〇〇 |
| 林 務 關 係 | 四六〇、五二〇、〇〇 |
| 水 產 關 係 | 三八〇、八〇〇、〇〇 |
| 耕 地 關 係 | 八、一九六、二二五、〇〇 |
| 土 木 關 係 | 七三二、五六〇、〇〇 |

建物關係

四、八五八・〇〇

五・七六圓減少セリ

總計

一四、八二六、〇六一・二四

昭和十三年災害的害害

一五、九六二、九六七・〇〇圓

備考 本表ハ青森縣下各町村調査表ニ基キ關係課ニ於テ果

昭和十四年 同

一四、八二六、〇六一・二四圓

計査定セルモノニシテ昨年ニ比シ一、〇三六・九〇

右表の内農産關係土木關係の内譯を表示すれば左の如し。

農産關係

被害項目

總栽培面積

被害面積

面積

被害總量單價被害價額

水稻苗腐敗病ニ因ル損害

三、三三七

七割以上

五割一七割

三割一五割

三割未滿合

計

八〇町 八〇町 苗九、五八八三把 二〇當三圓 三、〇〇〇圓

大麥ノ各枯ニ因ル損害

二、三九五

一

三〇〇〇反

六〇〇〇反

五〇〇〇反

三七九・五反

二、三九五

一〇、〇四石

石當三圓 三五、一〇八〃

小麥ノ各枯ニ因ル損害

八、二〇三・六反

四〇〇〇反

二、五〇〇反

二、〇〇〇反

三、二五三・六反

八、二〇三・六反

二八、七〇六

二〇圓

五七四、三〇〃

菜種ノ各枯ニ因ル損害

二、七七一・六反

一〇〇〇反

四〇〇〇反

五〇〇〇反

一、五四一・五反

二、七七一・六反

種子五、一四九

三圓

二、三、七七八

計

一六、三三・四反

八〇〇反

七五〇〇反

三、五〇〇〇反

三、〇〇〇〇反

五、二五四・六反

三、三九七・七反

八四、〇六六

六四、〇六六

土木關係

被害項目

被害數量

メートル被害價額

被害個數

被害價額

道路缺壞ニ因ル損害

二六、〇九〇メートル

一〇・二圓

一四五個所

二七〇、五六〇圓

橋梁ノ破壞ニ因ル損害

一

一一

二七、五〇〇圓

堤防護岸決潰ニ因ル損害

八、八一八メートル

五三

一六五

四三四、五〇〇圓

計

二六、九〇八メートル

三三一

七三三、五六〇圓